

竜王町

農業委員会だより

編集・発行
竜王町農業委員会
TEL : 58-3712

さん
担い手
農と人を結ぶ

イチゴ『雪野の雫』の栽培をはじめて

ファーム丘の風 松浦日出男（岡屋）

今年二年目のイチゴの収穫で大変忙しくしています。真っ赤で大きく甘いイチゴを皆さんに食べていただけるよう努力しているところです。

私は、長らく会社で研究開発に従事し二〇一四年に定年を迎えました。その後、新たな挑戦としての就農は第一の人生の始まりであり、わくわくした思いをもって臨みました。

農業大学で農業の基礎を勉強して、卒業と同時にハウスでのイチゴ栽培を軸とし農業に従事しました。そして、地域の人々においしいと言ってもらえる品質の良いものを安定的に生産供給していくことを目指しています。

一方で野菜・果樹も少しずつ手がけ、メジャーな野菜の厳しい競争に備え、健康志向・希少野菜の栽培も少しずつやってみて、お客様に喜んでもらいたいと思っています。

さて、本題のイチゴ栽培ですが環境にやさしく収穫作業が、比較的楽にできるハウスによる高設栽培に取り組みたいと考えて県が推奨している少量土壌培地耕による栽培方法で行っています。品種は良食味で連続着果性をもつ「章姫」と「紅ほっぺ」を栽培しています。三月から育苗を始め九か月間育てます。そして十二月～五月末まで収穫し、『雪野の雫』

というブランドで販売しています。

栽培においては、病害虫の対策も難しく絶えず葉の様子を見て、農薬だけに頼らない先進的な総合防除（天敵放飼や夜間のUV照射などを導入し、できるだけ農薬散布を減らして食の安全と環境を守っていく新しい考え方で）を行っています。それには資本も必要ですが、農業者として一番大事にしなければならぬことです。進んで取り入れていきます。

とはいえ失敗も多く、期待する甘さや大きさにならないことや、収穫が遅れて過熟になることがしばしばあり泣く泣く破棄しなければならないこともありました。これも一年一年勉強だと思ひ、お客様には「安全でおいしい」と言われる農家を目指して精進していきたいと思っています。この地で生まれ育った私ですが、イチゴ栽培を通じて地域の皆さんとも新たな繋がりが持てるようになったことは私の喜びでもあります。

最後に、竜王町の農業経営改善計画「認定農家」として頑張っていきたいと思っています。皆さん今後ともよろしく願います。



きらり
ファーマー

『ひとがやらない事こそ、あえて挑戦する』

若井 康徳（鏡）



近年は農業をする人の減少が加速し、若者たちをはじめとする担い手不足に陥っている農業に危機感を覚え、何とか地域農業を盛り上げていきたいという思いと、代々続く家業を絶やしてはいけないという使命感で、昨年の春正式に家業を継ぎました。幼い頃から農業に触れてきたことや、「人がやらない面倒くさい事」「みんなが辞めていくような事」に対して、あえて挑戦する事が好きで、自分の性格も継いだ理由の一つかも知れません。

ただ農業をやるのではなく、目的や目標を持ってやる。当たり前の事ですが、自分は「日本一の米農家になる」「楽しくお洒落な農業」という二つの課題を数年前から掲げ、今年度開催された「第十九回 米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、ようやく金賞を頂くことができました。竜王のお米は全国レベルという事と、やり続けていけば結果がでる事が証明できました。

日本一まであと少しのところまで来れ、ますますやる気が沸いてくる農業。

色々な事に挑戦でき、やり方次第で無限の可能性がある農業。

まずこの竜王町から盛り上げていきたいです。



★JA年末ふれあい大感謝祭

12月9日に、JA竜王支店で開催された「年末ふれあい大感謝祭」に農業委員会として参画しました。

「食と農」の関わりは、私たちにとっても非常に深いものがあり、今回も前年に取り組んだ米粉ドーナツを米の消費拡大の一つとして販売させていただきました。



前日の下準備から当日の販売にかけて、農業委員および農地利用最適化推進委員の委員全員で協力した結果、大変好評で完売することが出来ました。

当日、購入していただいた方ご協力ありがとうございました。



★こどもひろばでの食育活動

毎年10月になると竜王町子育て支援活動の取組で開催されている「こどもひろば」に農業委員会が出向き、竜王町で獲れた新米「みずかがみ」「コシヒカリ」「秋の詩」の3品種を持っていき炊きたてのご飯を試食していただくのが恒例となり、今回で4回目になりました。

毎年、皆さんも試食会を楽しみにしていただいております。私たち農業委員も竜王町で収穫されたお米が「みえるお米としてどれだけ安心して美味しいか」を知ってもらうよい機会でもあります。



今回は、42名の親子に参加してもらい、こども達にも興味を持ってもらえる様に紙芝居をまじえてお話させていただきました。

米の試食だけでなく米粉を使ったお好み焼きも食べてもらい「米を使ったレシピ」を紹介させていただきました。

これからもいろんな場所に出掛けて、出来るだけ多くの方に「竜王の農業」「食の大切さ」について理解を深めてもらえるよう活動を重ねながら、私たち農業委員も自己研鑽に励みたいと思っています。



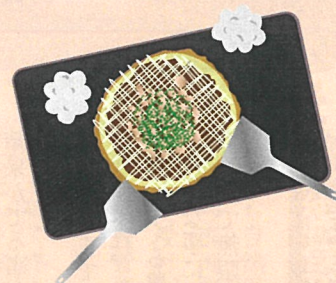
米粉のお好み焼きレシピ — 米の消費拡大

【材料（お好み焼き4枚分）】

・ 米粉	200g
・ だし汁	300cc
・ キャベツ	400g
・ 卵	2個
・ 豚肉	150g
・ エビ天かす	適量
・ 油	適量
・ かつお節	適量
・ 青のり	適量
・ ソース	適量
・ マヨネーズ	適量

【作り方】

- ①. キャベツを細かく切る。
- ②. ボウルに米粉・だし汁・卵をいれてかき混ぜ、そこに①を入れてよく混ぜる。
エビ天かすも入れて軽く混ぜる。
- ③. フライパンに油をひき②の1/4量（1枚分）を入れ、上に豚肉を広げてのせ、中火で底面が焼けたらひっくり返す。両面に火が通ったら出来上がり。
- ④. ソースを塗り、青のり・かつお節をのせ、お好みでマヨネーズをつけてお召し上がりください。



平成29年度 農業委員会 活動報告

★たんぼのこ体験学習

毎年、両小学校で食育活動の一環として行われている「農業体験」。

5月に田植えを、9月に稲刈が行われ、農業委員もたんぼのこ推進会議の一員として参加し、5年生との交流を図りました。

秋には、収穫したお米を試食し、お米にまつわる発表や児童手書きの感謝状をいただきました。

田植え



稲刈り



竜王西小学校
感謝祭



竜王小学校
感謝祭



子どもたちが
収穫したお米
でつくってく
れました。

★農地パトロール（利用状況調査）の実施

◇実施内容：優良農地の確保および遊休農地の把握と解消など、農地の有効利用促進に向けて、農業委員会では町内全ての農地を対象に利用状況（耕作中・遊休農地・非農地化等）の調査を行っています。

今年度については10月～11月に農業委員および農地利用最適化推進委員が連携し、町内の担当地区内農地のパトロールを実施しました。

今後も引き続き、農地の有効利用の促進に向けて取り組んでいきます。



竜王町賃借料情報

平成29年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a当たり）は、以下のとおりとなっています。

平成30年1月10日竜王町農業委員会

	平均額	最高額	最低額	データ数	備 考
田(平坦地区) ほ場整備済田	8,000円	12,195円	3,000円	266筆	
田(山間低収地区) 未ほ場整備田	1,000円	1,000円	1,000円	—	データ数が5件未満でしたので、従前の平均額等を掲載しています。
畑(全町一円)	4,700円	5,000円	2,400円	—	データ数が5件未満でしたので、従前の平均額等を掲載しています。
【参考】使用貸借(無償で使用する契約)				42筆	

<注意事項>

- ※1 農地法第52条の規定に基づき、農地の賃貸借の際の目安としていただくため、情報提供するものです。
- ※2 平成29年1月から平成29年12月に実際に締結(公告)された農地の賃貸借契約の賃借料をもとに作成したものです。
- ※3 実際の賃借料は、耕作条件等を勘案し、当事者間で話し合いの上決定してください。
- ※4 最高額、最低額については、データの平均値±(平均値×70%)を超えるものを除いたデータを対象としています。
- ※5 この情報の作成にあたり、賃借料が物納支給の場合は対象外としています。
- ※6 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

農業者年金に加入しませんか??

- ・ 農業者年金は、国民年金（基礎年金）に上乗せした任意加入の公的な年金制度です。
- ・ 保険料は月額2万円から6万7千円の間で、千円単位で自由に選択できます。

◆加入条件を満たしていれば、誰でも加入できます

国民年金1号被保険者

年間60日以上農業従事

20歳以上60歳未満

編集後記

昨年にも自然災害の多い年でもあり、弓削地先において大変な被害を受け、被害を受けられた農家の皆様にはお見舞い申し上げます。

秋も短く冬の到来も早く寒さも厳しい毎日ですが、地球環境の温暖化も農家には色々な面で影響があり、乗り越えていかなければなりません。

農業委員に選任されまして六ヶ月が過ぎ、研修等を受講して農業委員としての役目も理解ができるようになりました。これからも研鑽を重ねてゆきたいと考えております。

農業の「先々の思い」を致すと不安なようにも考えますが、竜王町農業を守り抜き発展に努力し、次世代に引き継げるようにしてまいります。

今年こそ災害のない平穏な一年である事を祈念致します。

編集委員

山本 孝雄
若井 富嗣
勝見 明雄
松田 英夫
久田 順子
山中 修
竹山 勉
松瀬 伊